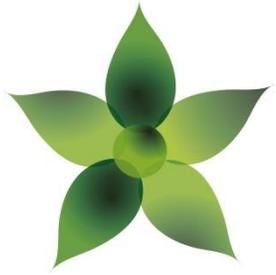


# 令和5年度介護現場の生産性向上に関する 普及・定着促進の取り組みについて



令和6年3月5日(火)

特別養護老人ホーム

ささづ苑 かすが

常務理事 施設長 古柴 政美



# 社会福祉法人 宣長康久会

せんちょうこうきゅうかい

従業員135名  
うち正社員97名

## 法人理念

「私たちは、皆さまが安心して幸せな生活を、住み慣れた地域で営んでいただくために貢献していきます」

平成29年8月  
開設



徒歩5分

平成11年4月  
開設



地域密着型特別養護老人ホームささづ苑かすが(ユニット型) 定員29名



併設

ささづ苑居宅介護支援センター  
大沢野・細入地域包括支援センター

ZEB実証事業に選ばれた省エネ性が高く地球に環境に優しい施設

特別養護老人ホーム ささづ苑(従来型) 定員48名



併設

短期入所生活介護 定員19名  
通所介護事業所 定員35名

地域密着型特別養護老人ホームささづ苑(ユニット型) 定員22名

# 従来のICTの問題点

グループウェア  
GroupSession

情報共有、管理が行き届かず、編集等ができない

A社介護記録ソフト・記録入力タブレット

使いにくく、介護情報以外は共有できない、情報をデータ化できずカスタマイズ不可、PC台数の制限

インカム

本体を身に着け手動ボタン、雑音が多く聞き取れない

# 新規導入のICT機器に求めた効果

バラバラな情報の一元化

介護記録や書類作成時間の短縮・負担軽減

感染予防と連携強化・ルート最小化

不要な作業削減  
利用者のQOL向上

# 令和2年度事業計画

(役職者会議で研修実施、各部署で活動)

5Sの  
推進

## 5S(整理、整頓、清掃、清潔、習慣)推進

物品管理を確実に行うことで探す手間が減少、紛失物がなくなり、過剰な物品注文の抑制

3Mの  
削減

## 3M(ムリ、ムダ、ムラ)の削減

マニュアル作成による法人内のケアの統一、サービスの質向上、時間外勤務削減

## 1年間の活動から見えてきた課題

- ・抱きかかえる介助での腰痛発症
- ・内線電話で専門職を探す時間ロス
- ・パソコンが少なく、書類作成の残業
- ・紙に手書きしてPCに転記作業による時間ロス
- ・紙媒体使用による情報共有の遅れと紛失
- ・職員のUSB使用、情報リテラシーの問題
- ・紙の保存が多く、書庫スペースの圧迫

## 令和3年4月 ICT推進委員会設立

### 目的

職員が働きやすく、不要な業務を削減し生産性向上、利用者のケアの質向上を図る

# 新規導入・増台のICT機器

## 記録入力 作業時間 短縮

### デスクトップ→モバイルPC

- ・持ち運べるため入居者を見守りしながら入力
- ・オンライン面会、担当者会議
- ・ペーパーレス会議

### NAS・DocWorks 文書管理ソフト

### CAREKARTE<sup>ケアカルテ</sup> CareWizハナスト

- ・骨伝導インカム使用、手を使わず音声起動、雑音もない。
- ・音声で食事量など介護記録入力が可能
- ・職員間情報共有可能(お知らせ)

役職者にモバイルPC、iPhone貸与、メールアドレス付与

### タブレット・iPhone

- ・写真・動画を共有したオンコール対応
- ・音声入力
- ・書類のスキャン

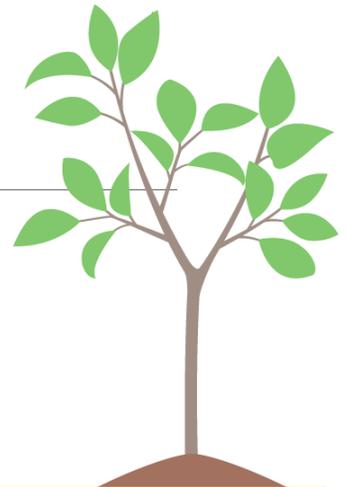
議事録AI

オフィスリンク・内線  
機能拡充、名刺管理

ZOOM会議

持ち物チェックアプリ  
シートの荷物を写真データで管理、  
紛失防止

# 情報共有システム新規導入による情報の一元化、 ペーパーレス化による生産性向上

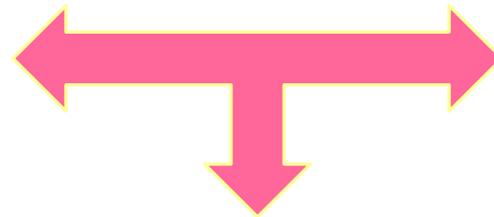


## NAS

(ネットワークハードディスク)

- ・書類、写真など全ての情報を一元化し、法人全PCから必要なデータにアクセスでき編集も可能、連携の効率UP
- ・個人情報保護・外部からのアクセス制限・セキュリティ強化
- ・ドキュワークス併用によりペーパーレスで稟議文書等の回覧、電子押印が可能

紙での連携は情報共有に時間がかかり、書類の紛失が多く、書庫スペースも圧迫  
データも各PCにバラバラに保存されていた



## 複合機

(機能増設)

- ・書類のスキャン
- ・ダイレクトFAX(送受信ペーパーレス化)

## DocWorks

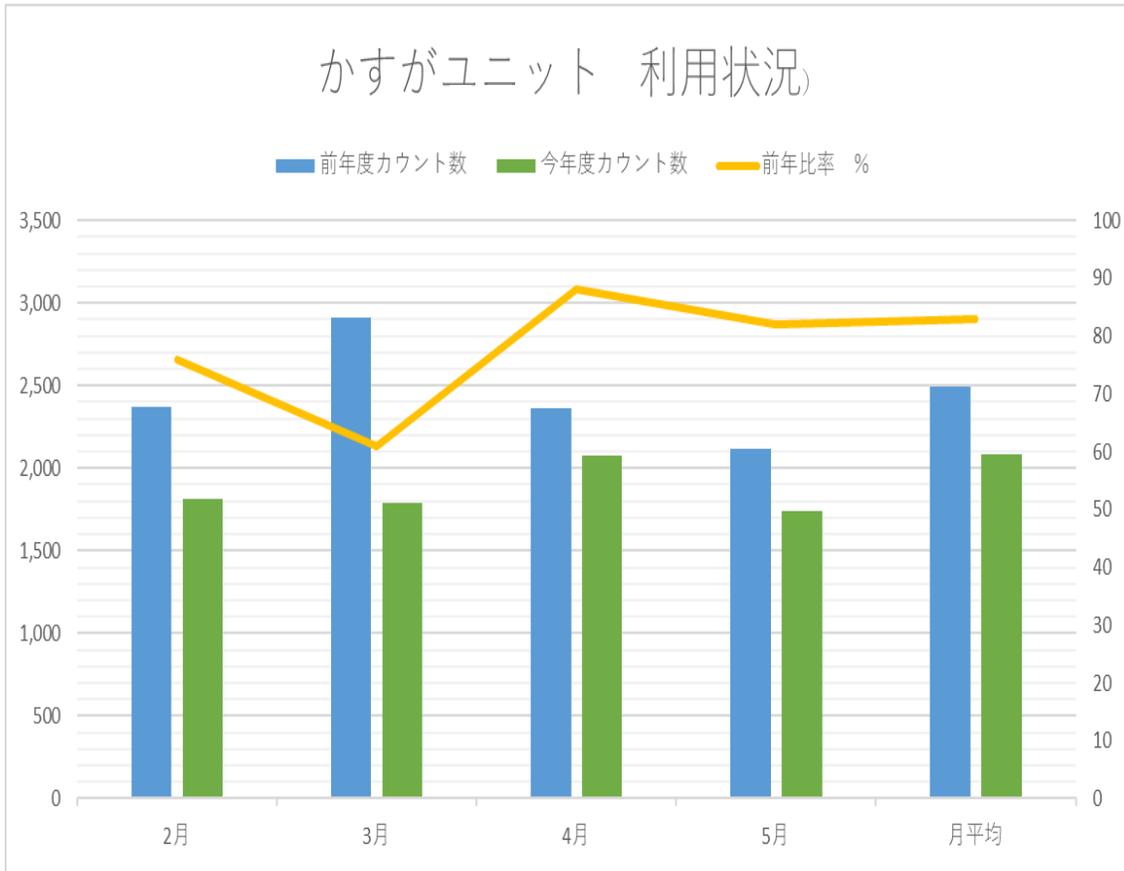
(文書管理ソフト)

- ・データで文書の回覧や稟議文書への電子押印が可能となり情報共有のスピード化、本館とかすが間の書類往来解消
- ・ダイレクトFAX、スキャンデータ管理等、作業の効率化
- ・紙の削減により省スペース化を実現

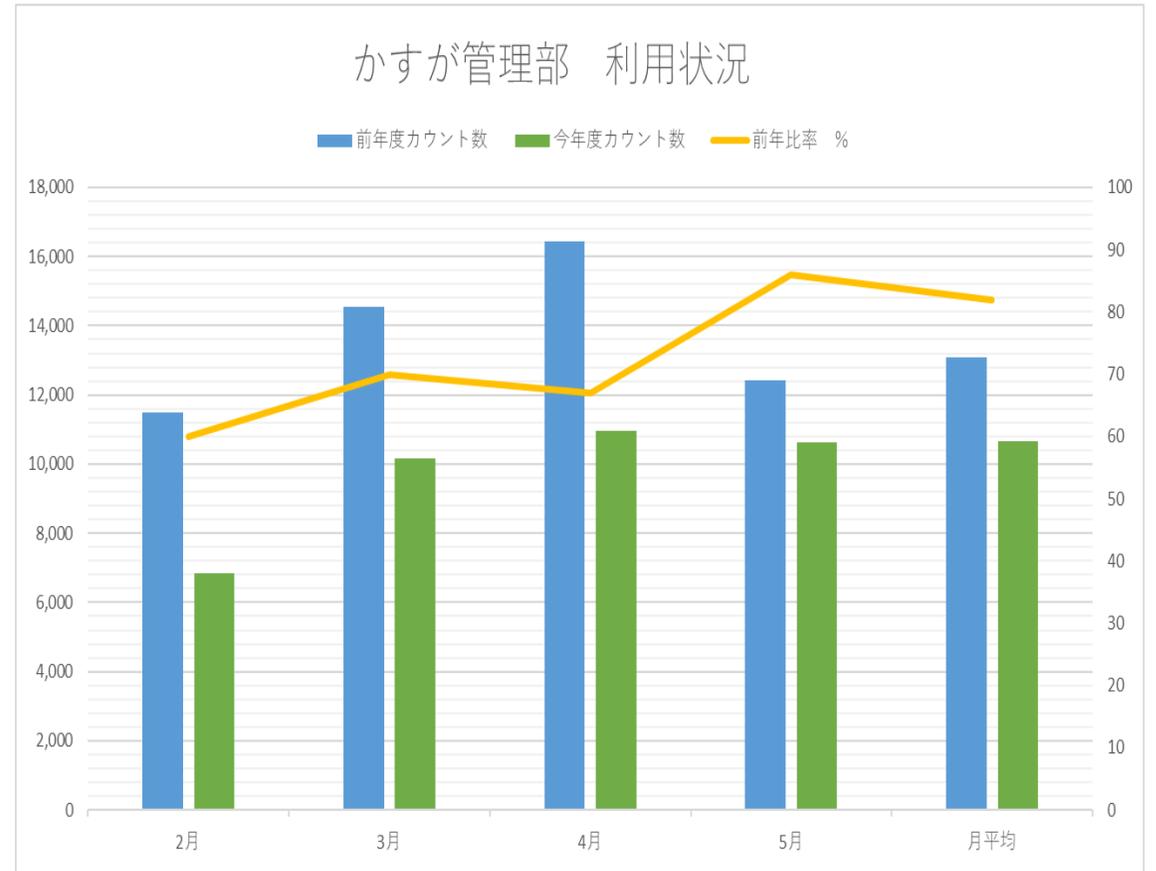
# 業務のペーパーレス化による 複合機の使用状況

出力用紙 月3000枚削減  
 FAX受信 月1000枚削減  
 FAX送信 月2000枚削減  
 スキャン 月4000枚(書庫に片付けない)

### かすがユニット 利用状況



### かすが管理部 利用状況



# 介護ロボット導入

## 腰痛予防ADL向上委員会の取り組み

### 目標

ノーリフティングケアの完全実施  
入居者様のADL向上の取り組み



腰痛予防体操ポスター掲示、実施の  
声掛け

アンケート、腰痛予  
防対策チェックリス  
ト結果からの対策

介護技術チェック

人力のみに頼らな  
いシートボードでの  
介助

腰痛予防リーダー  
育成

委員・役職者の研  
修参加義務付け



# 介護負担軽減、入居者のQOL向上

定時の巡回、排泄介助により  
利用者の睡眠を妨げ重労働

抱え上げ介護による腰痛、  
入居者の身体的負担・不安

## 見守り支援システム眠りSCAN

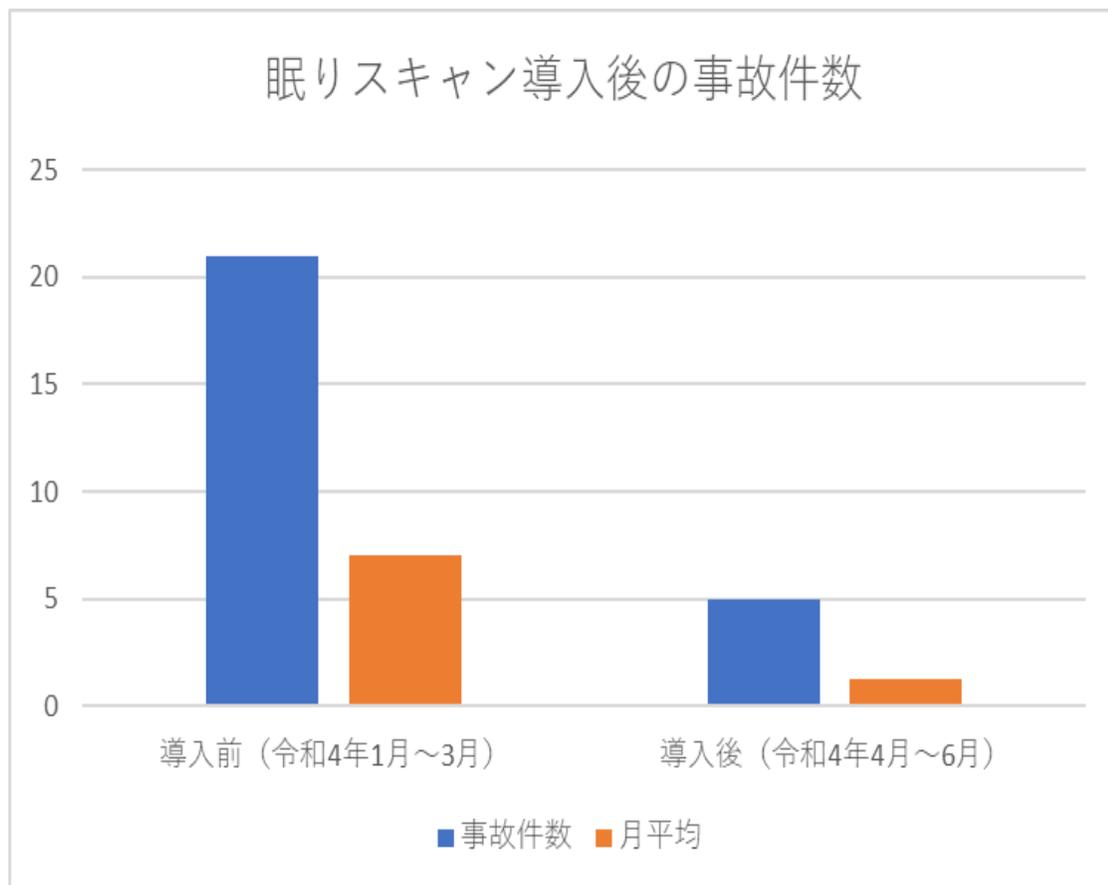
- ・職員の巡視の回数が減り、入居者の覚醒に応じて体位交換や排泄介助ができる
- ・転倒・転落のリスクの軽減
- ・アセスメントの質が上がり、高品質サービス提供につながった

## HugL1・HugT1・スカイリフト

- ・利用者も職員も安全・安楽に移動介助ができる
- ・ストレッチャー浴で入浴していた方が椅子浴で入浴や、トイレで排泄が可能となった

# 眠りスキャン、介護ロボット導入後の変化

腰痛による離職者 令和2、3、4年度はゼロ



# ICT・介護ロボット推進の成果と評価



## ケアの質向上

- 入居者の要望に即時対応
- 入居者の覚醒に応じケアができる
- リアルタイムで情報の共有ができ、記録の質UP
- 事故の減少
- 会話しながらゆとりのケア
- 入居者との交流増加
- 行事企画増加
- 職員のアセスメント力向上

## 入居者の自立支援

- 入居者の自立した活動の拡大（トイレでの排泄が可能となる）
- 睡眠の質向上し、傾眠の減少、生活リズムが整ってきた
- 食事介助が必要だった方が、自分で食事を食べられるようになり、活動的になった
- 自分のペースで生活ができ、移乗方法が自分でできることへの満足度UP
- BPSDの減少

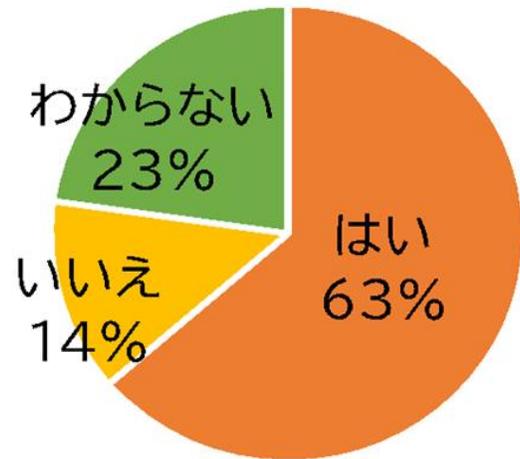
## 業務改善

- 腰痛改善、離職・休職ゼロ
- 職員の休憩時間確保、時間外勤務削減
- 余剰時間をケアに充当
- 情報共有のスピードUP
- 不要な移動時間削減
- ペーパーレス化で書類の紛失がなくなりコスト削減
- 書庫スペースが空き、過去の書類も即時にデータ検索可能



# 職員アンケート結果

63%の職員がICT導入により業務改善したと回答



(意見)

- ・NASの導入にて、他部署との連携が速やかになった。(委員会資料の確認、広報作成、回覧文書等)
- ・バイタル測定値を紙にメモすることなく、直接ハナストへ入力するようになった。ハナストの使用により、事務連絡、看護師との連絡を電話で行なう必要がなくなり良かった。
- ・眠りスキャンにより入居者様の対応をより早くできるようになった。
- ・以前は介護日誌を紙ベースで読むのが当たり前だったが、タブレットで確認するようになり連絡や状況把握がスムーズに行える。
- ・PCを使用できるタイミングや時間に限りがあったが、モバイルPCが増え執務室ができ、書類作成を集中して作業が行えるようになり改善された。
- ・ZOOM会議で会議場所に行かなくてもよいので移動時間がない。

# 他法人(施設)との差別化を目指して

求人募集しても人が集まらない

山間部であり、ささづ苑を誰も知らない

---



ささづ苑を知ってほしい！

就職希望者から**選ばれる魅力ある職場** = 差別化(ブランド力向上)

DO&THINK とりあえず、やってみよう

差別化とは少しの違いでは差別化とは言えない

① 他の法人が絶対に(容易に)マネできない

または

② 追いつくまでに相当の時間と労力を要する

(某民間企業向けコンサルタント談)

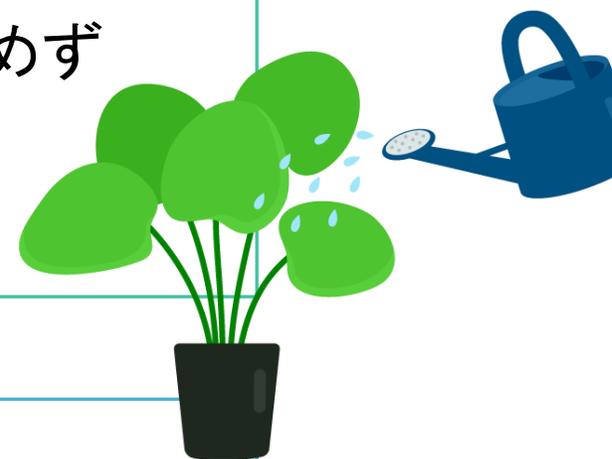
# 今後の課題

## 定着化のために

- ICT機器・介護ロボットに対し苦手意識を持つ職員は一定数いるため、レベル別・個別に継続して勉強会を実施
- 職員へのマニュアル・ルール作成、入力しやすい書式を用意
- 不具合時に即時対応や相談を行うことで、職員があきらめず継続して使おうという意欲高まる
- まずは1つの部署から始め、成功を全体に広げる

## 導入前のポイント

- 十分にデモンストレーションを行い必要性を検討
- ICT推進には助言を受けられる専門業者との連携が必要



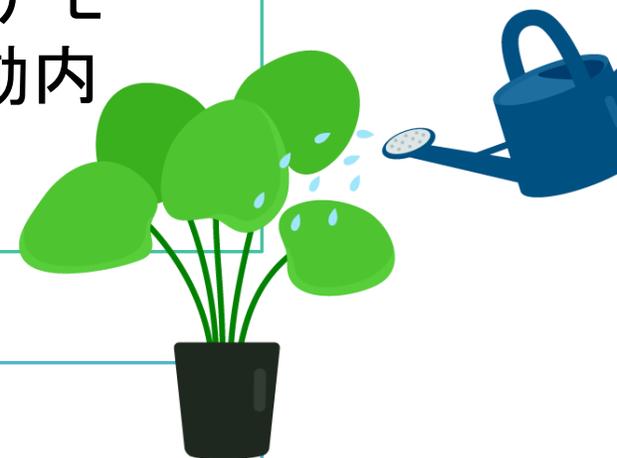
# 地域に普及するために取り組んでいること

## ICT介護ロボットをもっと普及させたい

- 施設視察、見学の積極定受け入れ
- 全国老人福祉施設協議会ICT普及研修施設の活動
  1. 導入経緯、導入機器説明、機器使用現場見学、デモ
  2. ICT推進委員会委員長による委員会発足から活動内容について説明

## 視察、見学、研修実施報告

- 地域教育機関、介護施設、病院、民間企業、マスコミ等
- 3/5現在で、55グループ、265名の方が参加





ご清聴ありがとうございました。当法人の取り組みが参考になれば幸いです。

# 法人で利用のICTの紹介

名称	会社	目的・内容
GroupSessionグループセッション	日本トータルシステム株式会社	スケジュール、掲示板、回覧板、ショートメール、施設予約等を共有
眠りSCAN	パラマウントベッド株式会社	マットレスの下に敷いて体動(寝返り、呼吸、心拍など)を検出して、睡眠状態を測定し利用者に合ったケアを提供
移乗サポートロボット Hug T1	株式会社FUJI	ベッドから車椅子、車椅子からお手洗いといった座位間の移乗動作や、脱衣場での立位保持をサポートするロボット
スカイリフト	アイ・ソネックス株式会社	排泄ケア用スタンディングリフト
ケアカルテ CAREKARTE	株式会社ケアコネクトジャパン	眠りスキャンと連動、介護記録
CareWizハナスト	株式会社エクサウィザーズ	音声で介護記録を入力
ApeosPlusTM Cards Rカーズアール	富士フイルムビジネスイノベーション	名刺情報を管理し、法人全体で共有化
DocuWorks ドキュワークス	富士フイルムビジネスイノベーション	様々なアプリケーションで作成されたデータ、ファクス・スキャン文書を一元管理
ZMEETINGジミーティング	Hmcomm株式会社	議事録自動作成ツール
持ち物チェックアプリ	株式会社 介護サプリ	ショートステイの荷物チェックを短縮化、紛失の防止